

2021年度「未来社会を支える温暖化対策技術シンポジウム in 関西」の開催について (案)

企画調査グループ

1. シンポジウムの開催目的

我が国では2020年10月の菅首相「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」宣言に続き、2021年4月に地球温暖化に対する新たな目標「2030年の温室効果ガスの排出2013年度比46%削減」が掲げられました。加えて大阪・関西万博基本方針の中に「ビヨンド・ゼロを可能とする日本の革新的な技術を通して世界に向けて脱炭素社会の在り方を示していく」と役割が示されるように、革新的エネルギー・環境技術の研究開発には今まで以上に大きな期待が寄せられています。

当機構は設立以来、抜本的なCO₂削減を実現するための革新的エネルギー・環境技術の研究開発を推進するとともに、地球温暖化対策シナリオを作成して政策提言につなげてまいりました。本シンポジウムは、これらの成果報告の場として、加速する国際的な温暖化対策・長期戦略を踏まえ、今後の政策立案や技術の実用化推進に役立つ知見を広く提供することを目的とし、大阪にて開催致します。

2. 開催概要

名称： 「未来社会を支える温暖化対策技術シンポジウム in 関西」

日程： 2022年9月22日（木）10:00～17:35（開場9:30）

会場： 大阪科学技術センター（OSTEC） 8階大ホール

※ポスターセッションは中小ホール

主催： （公財）地球環境産業技術研究機構 [RITE]

後援（予定）： 近畿経済産業局、（公社）関西経済連合会、（公財）新産業創造研究機構、
（公社）日本化学会、（公社）化学工学会、（公社）日本農芸化学会、
（一社）エネルギー・資源学会、（一社）日本エネルギー学会
（公社）2025年日本国際博覧会協会

定員： 160名（昨年度定員と同じ想定）

→申込全員受付、定員オーバーになりそうならば申込受付を止める

昨年度実績 23名（申込196名）一昨年実績 116名（申込162名）

Web：実施しない

参加費： 無料